

2015年(平成27年)4月27日・5月4日号

NO. 2678

(毎週月曜日発行)

株式会社 週刊住宅新聞社

本社 平160-0022 東京都新宿区新宿1-9-4 中公ビル
TEL.03(5363)5810 FAX.03(5363)5815 郵便振替口座 00120-5-83424
発行人 長尾 浩章 昭和35年5月10日 第三種郵便物認可

http://www.shukan-jutaku.com/

週刊住宅

CFネッツ流大家実践塾

147

アパート建築、相談は誰に

相談ができるところがあ

ったらしいのにとにかく

の声から「けんちくの窓」

(http://system.chies.co.jp/kenchiku2.jp/) とい

う仕組みを構築した。

マイホームやアパマンを

検討するとき、誰に相談す

るかで結果が大きく変わ

たり、結果が見えなくな

たり、迷路に迷い込んだり

する。

知り合いや、身内は？

建物を建てることを何度

も経験したことのある人は

少ない。思い込みが激しい

かもしれない

建築会社は？

建物のことは詳しくと思

われるが、あくまでも自社

の建物だけだったりする。

税理士さんは？

アパマンで節税なんてい

う話には詳しくそうだが、当

然建築プランや、いくらで

貸せるといったことに関し

ては素人

ファイナンシャルプラン

ナーは？

どちらかというと、生命

保険が専門の人がほとん

ど。なぜか保険の見直しの

話になってしまふ

◇ ◇

マイホーム建築・アパマ

ン建築をさまざまな視点か

らとらえて見ることで

意外に少ない専門家

費用や収益性の知識が必要

る人は、意外に少ないと思

われる。

会)の提唱する世界標準の

考え方を我が国に持ち込

み、不動産コンサルティング

という業態を日本に根付

かせたパイオニアである。

①建築士の視点からのプ

ラン・仕様・設備の検討、

②FPの視点からの予算・

借入・支払の検討、③不動

産経営管理士(CPM)の

視点からの収益性・安全性

・最有利利用の検討。マイ

ホーム建築とアパマン建築

に絶対欠かせない3つの検

討を公平性を持ったセカン

ドオビニオン、頼りになる

パートナーとして

無償で提供し、ハ

ウスメーカー・工

務店と施主を橋渡

意外に少ない専門家

費用や収益性の知識が必要

る人は、意外に少ないと思

われる。

さらに、自分

のビジネスに結

び付けようとする

バイアスが

かかっていない人

を見つけたら

と……。

建築のセカンドオピニオン

けんちくの窓

「けんちくの窓」を運営するシー・エフ・ネッツは2000年の創業以来、所属する団体IREM(米



「けんちくの窓」専任コンサルタント 一級建築士 猪俣淳

「けんちくの窓」を運営するシー・エフ・ネッツは2000年の創業以来、所属する団体IREM(米